



芽吹く季節

1987年1月 画 田中未年子

おわびと正誤

「闘争」前篇（八）

田中 豊蔵

志摩 肇

「うたごえ」よ高らかに（その三）

田中診療所と医学生

佐本 昌平

三・一五と谷口善太郎

梅田 勝

三・一五弾圧記念集会での記念講演（一九九六）金沢国労会館

三・一五と谷口善太郎

梅田勝

ご承知のように今日は、いまから六八年前の三月一五日に、日本共産党にたいする全国的規模の大弾圧があった記念日であります。約一六〇〇人の活動家が逮捕されております。石川県の生んだ先覚者、谷口善太郎さんも逮捕されています。

そこで私は、問題を三つに分けまして、一つは、三・一五大弾圧の意味するものは何だったのか、二つには、谷口善太郎（以下、谷善と略した愛称で呼ばせていただきます）、谷善はいかにたたかつたか、そして三つには、命をかけた戦前のたたかいでから何を学ぶか、その今日的教訓は何か、ということでお話をすすめてまいりました。

三・一五事件の弾圧の凄まじさは、小林多喜二が同名の小説「一二九二八年三月十五日」で詳しく極めてリアルに暴露しております。皆さんはこの集会のビラをご覧になつて谷善も小説で書いています。皆さんはこの集会のビラをご覧になつて

しかし、未決の獄中で大喀血、肺を病んでおられたのですね。やがて危篤、瀕死の状態で担架で出所しております。いわゆる責付出所です。これは、居宅に監視の刑事をつけ、外出、面会、執筆の禁止、これを破ると再逮捕する

らつたものはすぐ読んで、早朝庭で燃やして証拠は残つておりませ
ん。その後、刑事がきたそうで
すから、まさに危機一髪だったよ
うであります。谷善の方は、それ
から警察の激しい拷問取り調べに
毅然とたたかっておられます。

たと思いますが、谷善は三・一五の前日の夜、ちょうど国会から花屋敷に帰宅していた山本宣治さんに「赤旗」を配布し、「近く大検挙があるらしい」とことを伝えておりますが、その後、なんと宇治から京都まで歩いて帰るんですね。昔の人はよく歩いたものです。そしてすぐ寝込みを特高警察に襲われ逮捕されております。山宣の方は、長男の英治さんの話では、も

いう条件付きで一時出してやるというものであります。

で当選した労農党の水谷長三郎と
いう代議士がおりますが、戦後、
社会党で大臣になつた人です。彼
は水長と呼ばれていましたが、弁
護士であるにもかかわらず「共産
党は嫌いだ」といつて弁護を断つ
ております。これにたいして山宣
は、犠牲者救援運動の先頭に立つ
ております。あるとき京都地裁を
訪れ、収容者の健康状態を調べて
いますが、そのとき谷善が重態だと
知り、直ちに、いとこの医師で
ある安田徳太郎を派遣して診断に
あたらせ、責付出所の手続きをさ
せていたのであります。この点
が、山宣と水長との決定的に違う
点であります。山宣のおかげで谷
善の命は救われたのであります。

ところで、この弾圧事件をさせた根拠の法律は、一九二五年、大正一四年四月二二日公布された治安維持法であります。これは同年五月五日に公布された普通選挙法と抱き合わせでなされたものであります。

これによつて適用された弾圧が第一号が一九二五年一二月の京都学連事件で、この事件では京大やその他の学生が三八名起訴されています。

するといままでのよう、大資本家、大地主の思うような政治がで
きなくなることを恐れて、國体護持、つまり天皇制と私有財産を保
もるということを全面にたてて運動の弾圧を意図したことは明白で
ありました。

では、日本を誤った侵略戦争へと迫いやるうえで、言論・思想の自由を奪い、平和と民主主義の運動を弾圧した悪法であつたことは明白であります。今晚皆さんのお手元にお配りしたビラの中に、この法律の第一条が載っていますね。その第一条をみますと「國体を変革し、又は私有財産制度を否定することを目的として結社を組織し、又は情を知りて之に加入したるものは十年以下の懲役に処する」となつております。つまりやがて普通選挙が実施されると無産者が選挙に参加するようになる

る大改悪を国会に出てきたのであります。しかし、抵抗もあります。して審議未了になります。そこで、六月二九日、今度は天皇大権の発動による緊急勅令をもつて強行するのであります。戦前の天皇制がいかに権力をふるつていたかがよくわかるところであります。

しかし、戦前でも国会の事後承認が必要でありましたから、この年の一月二六日から開かれました第五六帝国議会に上程してきたのであります。そして、翌年三月五日、本会議で可決されるのであります。しかし、水長らは山宣に反対討論をさせなかつた。彼らの反対は治安維持法そのものではなく、死刑は重すぎるとか共産党以外のものは対象外にせよとかいつたもので、それは真に反対するものではなかつたのであります。だから山宣はその前夜、大阪の農民組合の大会で反対演説をするのであります。「山宣一人孤星を守る。しかし背後には……」という有名な演説であります。翌日、山宣は、本会議から帰つたところを右翼によって暗殺されるのであります。

以来、戦前日本の暗黒政治は、戦争の泥沼に陥つていくのであります。

山宣暗殺直後の四月一六日には、再び共産党への大弾圧、四・一六事件が起り、一九三一年九月一八日には、いわゆる「満州事変」が勃発、中国への全面戦争がはじまります。もうそなると治安維持法の対象は果てしなく拡大してまいりまして、合法的な無産政党はもちろんのこと、労働組合、文化団体、学者、作家、ジャーナリスト、果ては宗教団体に至るまで徹底的な弾圧が加えられたのであります。以来、一九四五年八月の敗戦まで日本はいわゆる一五年戦争に突入してしまうのであります。

さて、こうした戦争の流れに抗して、谷善はいかにたたかってこられたかということになりますが、三・一五で逮捕され、瀕死の状態で出されたことは、さきほどお話ししたとおりです。この戦闘的ながんばりはどこからきているのかということです。私は谷善が自ら書かれた経歴書を見たことがあります。そこには「貧困と屈辱の限りの中で育つたため、早くから支配者に対する反抗心をもつていた」ということが述べられておりました。よく「あの人には思想がないからだめだ」とか言います。人間には思想が大事なんですが、

す。人間には誇りといいますか、しっかりと信念をもつことが必要なんですね。この気概ですね。谷善は三反足らずの貧しい農家に生まれ、姉が四人の一家七人暮らしお父さんが病気がちなので、一才で働きに出ています。そのうえ谷善は頭が賢かつた。村では神童といわれ、小学校の尋常科は首席で卒業し、高等科では教師の影響もあり、文学にも憧れ大変多くの本も読んでおります。その素地があつて京都に出て清水焼の労働者として働き、労働運動に入つて行つたときにも、よく勉強して科学的社会主义の理論もよく理解され、自らのものとし確信とされたのではないかと思います。やがて一九二二年七月、日本共産党が創立されると、京都では、たつた六人のひとりとして入党され、すぐれた指導力を發揮されていましたから、いかなる弾圧にも不屈にたたかえたのだと思います。この点、思想・信条をしっかりとく覚えているのですから、大変な感化力をもつた方ですよ。幹部を育てる教育者ですよ。いろいろ厳しい指導をうけてまいりましたが、とにかく京都では戦前からの指導者であり、著名な文化人でした。だからかつて蜷川知事は、「七〇年への道」という総選挙へむけたこの「谷善パンフ」に、「京のまち、京のひと、谷善の顔がある」という句を推薦の言葉の中に寄せられているのであります。まさに谷善は「京の顔」だったのです。

私の谷善さんの印象ですが、谷善にはどこか侵し難い風格といふいた」ということが述べられておりました。よく「あの人には思想がないからだめだ」とか言います。人間には思想が大事なんですが、

ですから、谷善はまだ四〇代で髪の毛も黒々としていましたね。あのころ党へ入ると、すぐ党学校に入りました。その頃の党学校では、綱領や規約だけでなく、「プロレタリア文学論」とか「音楽論」の講義もありまして、人間の生活や文化を学ぶことも重視されていたのであります。谷善から講義を聞いたのですが、戦前の闘士の重みというか、大変な威儀を感じましたね。私なんかはとてもお尻が軽いので全然違いますね。「小説を書くときは、一週間か二週間位閉じこもって集中しないとうまくいかない」と言われたのを今でもよく覚えているのですから、大変な感化力をもつた方ですよ。幹部を育てる教育者ですよ。いろいろ厳しい指導をうけてまいりましたが、とにかく京都では戦前からの指導者であり、著名な文化人でした。だからかつて蜷川知事は、「七〇年への道」という総選挙へむけたこの「谷善パンフ」に、「京のまち、京のひと、谷善の顔がある」という句を推薦の言葉の中に寄せられていました。まさに谷善は「京の顔」だったのです。

(うめだ・まさる 元衆議院議員)

田中診療所と医学生

佐本 昌平

毎号の「燎原」を拝見しています。苦難の時代に誇り高く闘い抜いた革命家群像、英雄的な大闘争が語られています。私が紹介しようと考えている京都民医連の一大院所である田中診療所の歴史を見ると、革命家を輩出したわけでもなければ、歴史的大闘争を展開したわけでもありません。しかし一つの組織として、初期には医療に恵まれない未解放部落の人たちに対して献身的な医療を行い、引き続いだ地域の人たちと強く結びました。政治的にみれば現在に至るまで真の部落解放運動の発展を支える大きな拠点としてあり続けたことを評価できます。

一九五〇年代前半、政治の反動化の嵐の中で、人々は劣悪な社会保障の下で苦しんでいました。このような人々と協力して、レッドページで職場や大学を追われた医師や戦前からの数少ない先進的な医師たちを中心にして多くの民医を巻き起こし、無産者診療所を生

連の院所が作られました。これはもちろん戦前の無産者医療運動の伝統を引き継いだものでした。

田中診療所の成り立ちは少し違います。田中診療所は自分たちの医学や医療を少しでも医療に恵まれない人々に役立てたいと考えた京大医学部の学生たちや京大病院付属看護学校の学生たちが作ったのです。彼らは京大セツルメントというサークルを組織していました。彼らの活動のフィールドになつたのは、未解放部落であつた左京区田中地域です。

この田中地域についても一言触れなければなりません。田中地域は京都で最も早く水平社運動が起つた所です。地域の人を教育するためには建てられた夜学校ではいろいろな講演会がもたらされ、山本宣治、大山郁夫が講師になつたことがあります。一九二八年の三・一五事件と翌年三月の山本宣治暗殺は全国的に大きな怒り

が語られています。私が紹介しようと考えている京都民医連の一大院所である田中診療所の歴史を見ると、革命家を輩出したわけでもなければ、歴史的大闘争を展開したわけでもありません。しかし一つの組織として、初期には医療に恵まれない未解放部落の人たちに対して献身的な医療を行い、引き続いだ地域の人たちと強く結びました。政治的にみれば現在に至るまで真の部落解放運動の発展を支える大きな拠点としてあり続けたことを評価できます。

この田中地域についても一言触れなければなりません。田中地域は京都で最も早く水平社運動が起つた所です。地域の人を教育するためには建てられた夜学校ではいろいろな講演会がもたらされ、山本宣治、大山郁夫が講師になつたことがあります。一九二八年の三・一五事件と翌年三月の山本宣治暗殺は全国的に大きな怒り

が語られています。私が紹介しようと考えている京都民医連の一大院所である田中診療所の歴史を見ると、革命家を輩出したわけでも

ありません。京都で最も早く水平社運動が起つた所です。地域の人を教育するためには建てられた夜学校ではいろいろな講演会がもたらされ、山本宣治、大山郁夫が講師になつたことがあります。一九二八年の三・一五事件と翌年三月の山本宣治暗殺は全国的に大きな怒りが語られています。私が紹介しようと考えている京都民医連の一大院所である田中診療所の歴史を見ると、革命家を輩出したわけでも

ありません。京都で最も早く水平社運動が起つた所です。地域の人を教育するためには建てられた夜学校ではいろいろな講演会がもたらされ、山本宣治、大山郁夫が講師になつたことがあります。一九二八年の三・一五事件と翌年三月の山本宣治暗殺は全国的に大きな怒りが語られています。私が紹介しようと考えている京都民医連の一大院所である田中診療所の歴史を見ると、革命家を輩出したわけでも

実を知りました。セツルメントの日記には次のようなことが記されています。「実際に会つて話をし、貧しい食卓を見ることが必要であり、重要なではないか」「とにかく術を考えずに大衆の中に入ること、そして友達になること、それからあらゆることを一緒に考え、必要に応じて自分のもつている医学的な、あるいは公衆衛生的な知識を利用すること」「今まで多くの人から保護と援助しかうけたことのなかった自分にとっても、何分かの労力を他人のために、報いを期待せず役立つていてるという自覚が、物質的にも精神的にも乏しかった僕の生活を幾分なりとも明るくしてくれるものであった」。

しかし診療所経営と学業との両立はむつかしい課題でしたし、特にアルバイトや試験はセツラーの活動を大きく阻害しました。活動への自信のなさ、学業と活動との板挟みから動搖する人も出て来ました。この頃が診療所の一一番の危機だったと思われます。こんな中で初代所長が退職し、セツラーたちはいつも指導を受けていた西尾教授の所に相談に行きました。西尾教授は教室の大島秀彦氏をおつてくれました。風前の灯だつた診療所は立ち直りました。五九年に田中診療所と改名し、その運

當は学生の手を離れて、医師と専任の職員に委ねられました。その後は学生が診療所と協力する中で、当初考えていた地域の保健衛生活動や社会医学的研究をするようになりました。そして結核予防の活動、地域集団検診、血圧測定、浴場の水質検査さらに生活実態調査など多彩な活動を展開しました。

そのうちにセツラーだった学生が、医師や看護婦になつて続々参加するようになりました。彼らにとって、田中診療所は単なるバイト先以上のもので、いわば人生や世間を教えてくれる場所でした。ですから「田中大学」という言葉が使われました。これはゴリキーの「私の大学」という書名にヒントを得て、名付けたのではないかと私は思っています。

田中診療所に参加していた医師たちは大学で研究や臨床の研修に従事している人が殆どでした。ですから研究や臨床の方が忙しくなつてくると、どうしても本業に帰つていかざるをえませんでした。臨床的には優れた医師がたくさん参加していたのですが、次から次えと変わり固定化できなかつたため、地域の信頼を失つたこともあります。患者の診療所ばかりも目立ち、診療所はいつも経

當危機にさらされました。時には医師層が固定し、診療所が繁盛したこともあるが長くは続かませんでした。五〇年代の終わりには、医師や看護婦の供給源だった京大セツルメントは解散していました。発足当時は独立独歩だった診療所は、六五年には京都民医連に加盟しました。七〇年に初めての名実とも常勤の医師体制が確立できました。それから本当に地域に根を張った地域住民の健康に責任をもつ医療機関として発展していったと言えます。

部落解放運動に排外主義の潮流が強まり、正しい路線を歩もうとする人たちが排除され、やがて分裂が決定的になつたのは六五年ですが、診療所は常に正しい路線をとる人たちと連帯して闘いました。革新府市政の実現や社会保障拡充のために闘いました。そして地域の中で確固とした地歩を築いたといえましょう。

私はその後の診療所の発展が、開設当時の理想に燃えた学生たちの心意気、献身や、経営難で何回も貸下げしながらも診療所を維持した職員たちの粘りや努力の上に支えられているのだと思います。この学生たちは革新的な思想をもつていたばかりではありません。その人々は、その後優秀な

研究者や臨床家になりました。時代が彼らをそういう運動に向かわせたのだと思います。今はなき西尾京大名誉教授は、「田中診療所の三十年」の序文の中で次のように言っています。「これらの学生は、年代によって多少の差はあるが、いずれも戦時中は教育勅語の枠にしばられた天皇制護持の厳しい教育をうけていたが、敗戦による第二次世界大戦の終結後は学制改革によって新制中学校・高等学校において平和憲法に支えられた教育基本法にもとづく教育をうけてきている。このことによつて培われたヒューマニズムが民主主義の波の高まりの中でかきたてられ、戦後の社会的・経済的混乱の中で生活環境条件や医療条件の著しい立ち遅れの状態にあつた田中地区でのセツルメント活動への参加となり、医療状況の改善の場としての診療所の開設とその維持のための苦しい努力ともなつたのだろ」と考へられる。」

たしかに戦後の民主主義運動の高揚の中で、良心的な学生たちの願いや実践が、社会進歩の運動と見事に結合したものだと思います。ひるがえつて現在を見ると殆どの学生や研究者は非政治的のよう見えますが、田中診療所の歴史を考えるとき、私は学生たちが

状況しだいでは進歩的な勢力になりました。

(さもと・しょうへい)

大宅診療所

俺らは殺した
泣き叫ぶ女や子供を
観念のまなこを閉じる老人を

そして
俺たちの戦友もコロコロ死んだ

批判の一助とした。
※この曲は当時は齊唱だったが、最近女

声合唱編曲で再びとりあげられている。

「うたごえ」よ高らかに

—京都の「うたごえ」運動の歩みから—(その三)

志摩肇

前号では話がやや「理屈つぽ

く」なつたが、なにも理論闘争ばかりしていたのではない。

京都ひまわり合唱団では、激論の中でも要請に応じあちらこちらと演奏活動していたが、今号ではその演奏中身の紹介から始めたい。

♪「美しい山 懐かしい川

追われ追われて
果てしなき旅よ

道づれは涙 しあわせは無い

国外にも 国の中にも

これは、東宝映画「戦争と平和」の主題歌飯田三郎作曲「流亡の

曲」である。

先の戦争では、いわゆる銃後にいた国民は広島・長崎の原爆や空襲等の被害者であることは確かだが、戦地におもむいた兵士は、好み好まざるにかかわらず侵略戦争の片棒をかつがされ、加害者と

なつたのである。

この「流亡の曲」は、中国を始め東南アジアの人びとの悲しみや怒りを歌っている。私たちは朝鮮

戦争の真最中、公に正面切って米軍批判が難しいところから、戦争の本質を訴るためにこの曲をとりあげ、同時にこの一番と二番の間に、さる詩集から次の詞をとりあげて朗読し、「再び加害者となる」と訴えた。

♪「俺はいやだ」
俺はいやだ 死んでもいやだ

二度と人殺しをするのは
二度と火付けや強盗をするのは

道づれは涙 しあわせは無い

国外にも 国の中にも

これは、東宝映画「戦争と平和」の主題歌飯田三郎作曲「流亡の

曲」である。

先の戦争では、いわゆる銃後にいた国民は広島・長崎の原爆や空

襲等の被害者であることは確かだが、戦地におもむいた兵士は、好

み好まざるにかかわらず侵略戦

争の片棒をかつがされ、加害者と

※約五〇年前のこと、詞の文句も違つてゐるかも知れぬし、又作者も今となつては不明である。

♪「ああ 弟よ君をなく

君死にたもうことなかれ」

余りにも有名な詞であり、知る人も多いと思うので以下省略するが、この詞に確か吉田隆子が作曲した。そして

♪「旅順の城は滅ぶとも

滅ばずとても何ものぞ

すめらみことは…

おおみずからは出まさせ

この部分は、戦時中の天皇制軍

國主義の中を生きてきた者には、

とうてい「思つていても言えぬ」

言葉で、あの明治の世の中で女流

詩人が歌い上げた事実に圧倒され

つつ、当時根強く残る天皇制遺物

♪「一 一つ 日の丸ムシロ旗

二 二つ 船小屋に泊り込む ホヤホーヤ
三 三つ みんなで反対すれば ホヤホーヤ
四 四つ 吉田はんも困るやろ ホヤホーヤ
五 五つ 生命をメツコにしても ホヤホーヤ
六 六つ 村をば金では売らぬ ホヤホーヤ
七 七つ 中山謝らせ ホヤホーヤ
八 八つ 役人追い返せ ホヤホーヤ
九 九つ 今度はだまされまいぞ ホヤホーヤ
ドカン やめる迄動きやせぬ ホヤホーヤ
ホヤホーヤ

これは「内灘教え歌」で、「吉田」

はときの白足袋首相・また「中山」

は当時の内灘村長である。

この曲は、内灘闘争に参加した

「うたごえ」活動家が、今では大家

となつてゐる当時の音楽大生の助

力も得、また村人たちと相談しつ

つ集団創作したものである。

一九五二年石川県内灘の浜を米

軍射爆撃場として接収しようとし

たのに対し、村を挙げ身体を張つ

た激しい反対運動が起り、「うた

ごえ」も全国的支援に入り、京都

ひまわり合唱団も原田専助団長

元京都借地借家人組合長＝等六名の団員を派遣した。

しかし福庭俊一＝元洛北友禪労組書記長＝団員の話によると、村人たちちは最初「歌なんか、祭りのときに唄うものでこんなときに止めてくれ」と受け入れられなかつたという。

そこでうたごえ支援隊は、農業を手伝いつつ、また共に役場に座り込み信頼を得る中、基地建設の資材を運ぶ北陸鉄道の労働者がストで支援活動に立ち上がったのを契機に、村人も農業や漁業で鍛えられたゴツゴツした手に、始めて歌集を持ち唄い始めたのである。

支援オルグと村人との交流は、折りにふれ様々な場で行われたが、夜権現森での座り込みの中で、一老人がズンドコ節の旋律に乗せ超スローテンポで、「夏の涼みは宮坂へ」権現森に吹く風と「朝々唄う姿に全員静まり返り、原田専助元団長は「うたごえ」の持つ力の大きさに改めて感動した思い出を語っていた。

更に村の子供たちもパトカーをとり囲んで「民族独立行動隊」を唄い、警察も相手が子供では手も出せなかつたとのこと。

私たちも、この中で「今こそ愛郷平和のうたごえ」をと運動目的

を明確化、また運動が多くの人々の団結と統一を進めてゆくのを見た、「うたごえは平和の力」という今日に残る運動のスローガンを作り出すのである。

この内灘闘争は、「金は一年・土地は万年」との村人が内灘に寄せる愛着から生まれたエネルギーが、延べ四年にわたる闘いを経て、基地完全撤去・返還をかち獲る素晴らしい成果を得、その後の基地闘争の原点と言われた。

京都ひまわり合唱団では、代表が帰着して報告を聞き、「これを京都の働く仲間に伝えよう」と、シユプレヒコール「内灘の怒り」として、大久保・桂の基地周辺や堀川高校・立命大等の基地反対集会で公演し大きな反響を呼び、これをもち関西平和祭に参加したのである。

京都ひまわり合唱団の元団員で組織する団友会では、「うたごえの故郷めぐり」を毎年行い、自分が参加した「うたごえ運動」の検証をしているが、その二回目として内灘を訪問、現地の仲間とも交流した。

今も残る着弾地のトーチカ前から浜を見つづ、「あの当時、何とかして潜り込んで座り込みをと願つた浜が、今若者たちの四輪駆動車で走り廻る場所になつてゐるのを

見ると、平和とは良いものと改めて思う」と、当支援活動に参加した伊藤靖子＝元京都母親連絡会事務局長＝団員は語つていた。

(以下次号)
(しま・はじめ 京都ひまわり合唱団創立参加者)

闘

争

前篇（八）

田中 豊蔵

七、日本無産党事件

昭和一二年（一九三七）一二月

一五日、日本無産党に対する全国

一斉検挙がありました。

私は、朝五時、表と裏とから七

条署の特高課と府の特高課がおそ

いかかつて検挙されました。今

南区東九条中殿田町一六の自宅で

す。近所の人々は検挙騒ぎにビックリして家の前から見ておりま

す。

私は自家の大切なものはご飯の

おひつの中に入れておりましたのに難をのがれました。本では河上肇先生の貧乏物語、マルクスの経済学などです。

「田中、今聞けば学区会の偉い

さんになつてゐるとの事じやな

あ！先ほどの失礼は許して下さ

いよ。君は今、公人だ。悪かつた、

悪かつた」

とあやまり、それから後は、「これら」とか、「すわれ」とか、「馬鹿野郎」とは言わんようになります。

七条署特高課の室に入ると府本

部の特高課の猛者上警部、署員三

人、七条署の特高課長、ポリス部

長七人が、

朝、特高課にいつても課長小寺

